



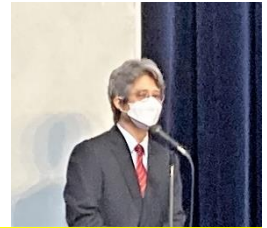
建交労



2022年1月9日
建交労神奈川県南支部
2022年春闘No.2
2021年度推進ニュース⑨通算243号
発行責任者 小島 茂

川崎労連1月7日に2022年旗開き開催！

川崎労連は、1月7日に川崎産業振興会館で2022年旗開きを開催しました。旗開きの企画時にはコロナの感染が縮小していましたが、感染防止のため参加人数を予め制限し、ソーシャルディスタンスを十分に確保できる会場も設定して準備を進めてきました。しかし、2021年末から新たな変異株オミクロンが世界で猛威をふるい、国内でもデルタ株などと合わせてジワジワと第6波の様相が見え始めていました。



吉根事務局長の開会挨拶



主催者挨拶をする菅野議長

この背景には全国の米軍基地へコロナに感染した米兵や軍属が検査もなく日本に入国し自由に基地外に出て市民と接触を繰り返していたこと、そこに年末年始の休暇で増加した国民の国内移動が加わったことが考えられます。新年から急拡大した全国のコロナ感染者は1月4日1268人、5日2491人、6日4475人、1月7日6214人と深刻さを増し、岸田政権は米軍由来の感染拡大が顕著な沖縄・山口・広島県の要請に応え9日から“蔓延防止等重点措置”適用を決定。

川崎労連はこの状況下で改めて、ウィルス感染防止策（開催時間縮小・マスク飲食・テーブル移動制限など）を徹底して旗開き当日にのぞみました。参加者は広い会場に約40人、神奈川県南支部は大島書記長（川崎労連事務局次長）と赤羽が参加しました。

旗開きの開会挨拶（司会）は昨年9月の大会で選出された吉根新事務局長がウィルス感染防止への協力を強調して進行しました。

主催者挨拶を行った菅野議長は、コロナ禍での3年目のたたかいで要求前進・憲法改悪阻止・7月参議院選挙での市民と野党の共闘前進などを呼びかけました。来賓挨拶は、はじめに神奈川県南支部の住谷議長が、コロナ禍で浮き彫りとなった貧困層の拡大について年末の生活支援・相談会を踏まえて過酷な現状を告発しました。川崎合同法律事務所はベテラン・中堅・新人の3弁護士が挨拶、新たな社会現象や裁判闘争の特徴などを報告し決意が述べられました。最後に日本共産党川崎市議代表3議員が、大企業を優遇する川崎市の悪政を告発し参議院選の勝利を含め現状打開の決意を表明しました。



手品を演じるマリリンさん

その後、コロナの感染防止対策で参加が叶わなかった団体・組織の祝電メッセージが紹介され、菅野副議長の乾杯発声で第2部の交流・アトラクションなどを行って1時間25分の旗開きを成功裏に閉会しました。



挨拶する神奈川労連住谷議長



川崎合同法律事務所の挨拶



日本共産党川崎市議の3名

内閣総理大臣 様
衆議院議長 様
参議院議長 様

憲法改悪を許さない全国署名

行き詰まって相次いで政権を投げ出した安倍・菅政権をひきついだ岸田文雄政権は、2021年の総選挙で改憲発議に必要な3分の2の議席を手に入れました。岸田首相は中国や朝鮮を念頭に違憲の「敵基地攻撃能力の保有」をとえ、歴代政権がかりうじて維持してきた防衛費の対GDP比1%以内の原則をも放棄して2%以上を主張するなど、米国をはじめ欧米諸国との軍事同盟を強化し、「戦争する国」づくりを進め、アジアの緊張を高めています。しかし、この道の障害になるのが憲法9条など、日本国憲法の理念です。

改憲派は次の参議院選挙をにらみながら、9条に自衛隊を書き込むこと、緊急事態条項を創設することなどを内容とする自民党改憲4項目案をベースにして、国会の憲法審査会での改憲案づくりを急ごうとしています。

私たちは国会が改憲の発議をすることを許さず、すべての戦争に反対し、憲法を生かし、平和と民主主義、人権、環境、暮らし・医療・公衆衛生向上などを実現する政治を求めます。

【請願事項】

- 1、自民党が提唱する憲法9条に自衛隊を書き込むことなどの改憲4項目に反対します。
- 2、憲法を生かし、平和と民主主義、人権、環境、暮らし・医療・公衆衛生などの向上を実現する政治を求めます。

名 前	住 所

※いただいた署名は国会請願と首相への要請以外には用いません。

呼びかけ団体 **9条改憲NO! 全国市民アクション**

ホームページ: <http://kaikenno.com> メールアドレス: info@kaikenno.com

Twitter twitter.com/no9kaikenno
Instagram [instagram.com/9jyokaikenno/](https://www.instagram.com/9jyokaikenno/)
Facebook [facebook.com/kaikenno/](https://www.facebook.com/kaikenno/)



連絡先

- 戦争をさせない1000人委員会 《☎03-3526-2920》
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2-11 連合会館内
- 憲法9条壊すな！実行委員会 《☎03-3221-4668》
〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3-3-3 太陽ビル402市民ネット内
- 戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター 《☎03-5842-5611》
〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館4F
- 九条の会 《☎03-3221-5075》
〒101-0065 東京都千代田区西神田2-5-7-303

内閣総理大臣 殿

唯一の戦争被爆国 日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名

いま世界では、核兵器禁止条約の発効から核兵器廃絶へとすすもう、という声広がっています。多くの国ぐにが被爆者の声に耳を傾け、「核兵器による安全」ではなく、「核兵器のない世界による安全」を選択し、核兵器禁止条約を支持し、参加しつつあります。

唯一の戦争被爆国である日本政府は、核兵器廃絶の先頭に立たなければなりません。

国内の世論調査でも、日本が核兵器禁止条約に参加すべきとの声は7割を超えています。日本政府がこの被爆者と国民の声に誠実に応えることを訴えます。

私は、日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求めます。

名 前	住 所	募 金

この署名は、2020年10月29日、被爆者をはじめ各界・各層の代表126氏によびかけによりスタートしました。日本政府に提出します。ご記入いただいた個人情報、この要請目的以外には使用しません。

【取扱団体】

連絡先：署名事務局（原水爆禁止日本協議会）〒
113-8464 東京都文京区湯島2-4-4
電話：03-5842-6031